

大学出版

No.

2006.8

68 夏

大学と社会を結ぶ知のネットワーク

特集

大学出版部協会 30大学出版部 マニフェスト

● 連載

ぎょう
行の建築 —— 東大寺二月堂 * 松崎 照明 —— 表2

関西支部だより —— 表3

THE ASSOCIATION OF JAPANESE UNIVERSITY PRESSES

有限責任中間法人大学出版部協会



ぎょう 行の建築

東大寺二月堂

松崎照明
(建築意匠)



為を行っているのである。

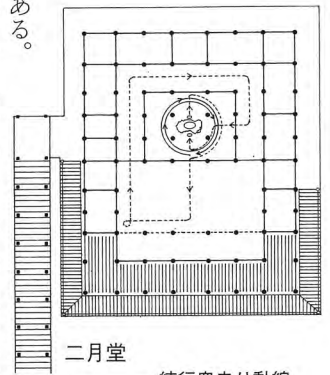
奈良時代に禅師や浄行僧といわれた行者たちは、都の寺院を離れ、「浄処」と呼ばれる山中の清浄な場所を選んで、道場・山房を営み、修行を行っていた。奈良東大寺の山際にある法華堂（絹索堂）と二月堂は、この奈良時代山林修行の建築を今に伝える数少ない遺構である。

山房の浄行僧の一人であった良弁は聖武天皇の帰依を受けて東大寺建立を実現し、大仏開眼の天平勝宝四年（七五二）、弟子の実忠に、観音に過去の罪を懺悔し罪報を免れる悔過行（修二会）の為の二月堂を作らせたと伝える。

この二月堂には、不思議なことに大小二体の本尊がある。修二会の前半は大観音を本尊とし、七日目に神輿のような小観音の厨子（ずし）を大観音背後から礼堂に出し、さらに外陣をぐるりと回って、大観音前面にすえて、後半の本尊にする。

建物は、大観音が自然の岩の上に立つため、礼堂部分の床下が、長い柱で支え上げられた懸造（かけづくり）という山岳信仰特有の建築形式になる。

小観音はここで、位置の移動によって、本尊の周りを回って、仏教修行での行道（ぎょうどう）をするとともに、山岳信仰で重要な信仰対象の岩（本尊岩座）のまわりをも回るといふ二重の巡る行



二月堂

練行衆走り動線

小観音厨子移動動線

修二会では今も、練行衆（浄行僧）は「南無観世音、南無観、南無観、南無観……」と、宝号を繰り返して唱え、礼堂へ出ては床板に体を打ちつける五体投地を行う。そして、いわゆる「走りの行」では宝号を唱えながら、小観音同様に大観音と岩のまわりを、今度は走ってめぐると、僧たちの唱える宝号は、地から湧き出る泉のように堂内を潤し、建物は楽器のように響き揺れる。走りの行の杵音は春の眠りを打ち動かすように大地を踏み、行は進んでいく。現在の走りの行は、観音の周りを数回まわって作法を終えるが、平安時代の『七大寺巡礼私記』には、僧は仏壇のまわりを走りめぐり、弱いものは倒れ伏し、強いものだけがなお走り、最後は一人になるまで走るとあって、走りの行が苦行の極みであったことを記している。

神仏のいます岩を巡り回る苦行は、山岳修行の根源となる。江戸時代の芭蕉は修二会を聴聞し、

水取りや 氷の僧の 杵の音
と詠んだ。

●特集 大学出版部協会 30 大学出版部 マニフェスト

任意団体として四二年間にわたり活動してきた大学出版部協会が、「有限責任中間法人」として新しい一歩を踏み出して以来、はや一年が経過いたしました。法人化にあたり重点目標として掲げた財務基盤の強化はまだ緒についたばかりですが、新たに創設した「賛助会員制度」に対しましては、二九社のご協賛をいただきました。厚く御礼申し上げます。

もうひとつの目標である、出版社団体としての「協働」の推進につきましては、ウェブサイト (<http://aijup-net.com>) 上や書店店頭でのテーマ別ブックフェアの計画・開催という新機軸に加え、協会一丸となって学術出版への支援を開拓する等、運動の展開をはかっております。また、この四月より、武蔵野大学出版会とケンブリッジ大学出版局（日本支社）が新たに加盟し、メンバー数がはじめて三〇に達しました。本号ではこれを記念し、各出版部の「マニフェスト」を集約いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

大学出版部を新設した大学、あるいはその設立を検討している大学の期待に応えるためにも、本会の活動をますます充実させるべく、鋭意努力する所存でおります。今後ともご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

大学出版部協会理事長 山口雅己

未知へのAmbition

——自然と人の新しい関係を探る

北海道大学出版会

「北海道における創造的・地方文化の発掘に努力し、以て文化の向上に寄与し、さらに一般教養書、学術書等の刊行を通して、教育の普及、学術の振興を計る」。この発足時の精神は、今も脈々と小会の出版物に受け継がれている。

この象徴的な出版物を二冊紹介しよう。

●ユニークな編集で知られる「ウォッチング図鑑」

花の色や葉っぱの形で引く特徴ある編集で『北海道の花』

と『北海道の樹』は読者の高い支持を得て版を重ねている。

今春でた『札幌の昆虫』は、池内紀さんが毎日新聞「今週の本棚」で大きく紹介してくれたように、昆虫学発祥の地である札幌という地域性、単なる図鑑を超えるものを作りたいた志す著者と出版社、それを敏感に感じ取ってくれる読者との幸せな関係によって、一か月で重版した。



『札幌の昆虫』（木野田君公著、四六判、2520円）

『国境・誰がこの線を引いたのか』（岩下明裕編著、A5判、1680円）

●「スラブ・ユーラシア学」を目標として

『国境・誰がこの線を引いたのか』も小会らしい本である。

本書は北大スラブ研究センターの21世紀COE成果「スラブ・ユーラシア叢書」の第一回刊行物である。本書

では、日本を取り巻く三つの国境問題、尖閣・竹島・北方領土の問題解決の方途を、ユーラシアおよび隣接地域を中心に広い視野で学ばべく、一般向けに優しく書かれている。

このように、小会は北の大地にしっかりと根を張りつつ、アンテナを全方向に向け「未知へのAmbition」を発信し続けていく。今後も学術専門書の刊行を中心に据えつつも、研究成果の一般向け企画の刊行に努力していきたい。

東北からの知の発信基地を目指す

東北大学出版会

●設立から十年 一層の飛躍を目指す東北大学出版会

東北大学出版会は、本年十一月で創立十周年を迎える。

この間、約一三〇点の書物を刊行、最近は年間二十点のペースで出版している。幸い、多くの方々から出版の問い合わせをいただいている。また、若手研究者を対象とした出版助成も軌道に乗りつつある。十周年を記念して、会報誌「宙（おおぞら）」を編集し、合本を刊行することにした。

本出版会は、カラー写真が多く見た目にも美しいしかも廉価な本の出版を心掛けている。田中英道監修『西洋美術への招待』（日本図書館協会選定図書、四〇七頁、二〇〇〇円）、

若山映子著『システィーナ礼拝堂天井画』（2分冊箱入、四八三〇円）はこの例である。また中山至大他著『日本植物

種子図鑑』（日本図書館協会選定図書、二二〇〇〇円）も



『システィーナ礼拝堂天井画』
図版編より 中央入り口からの眺め
ヴァティカンの写真技師が本書のために
特別撮影した12点のカラー写真を掲載

の学術・文化の振興に寄与してゆきたいと考えている。

●おすすめ本

『東北―その歴史と文化を探る』（四六判・一八〇頁・一五七五円）「みやぎ県民大学」での一連の講演を収録。カラー

図版を多く取り入れ、親しみやすい書物となっている。『プラトン形而上学の探求』『ソフィステス』のディアレクティケーと秘教』（A5判・二四八頁・三二五〇円）プラトンの秘教を探求し、プラトンが最も大切にしていたことを明らかにする。／近刊『学校を考えるっておもしろい』（A5判・

一八九〇円）、『アスベスト―ミクロンサイズの静かな時限爆弾―』（A5判・一一五五円）、ジェンダー法・政策研究叢

書第5巻『セクシュアリティと法』（A5判・二三二〇円）

好評をいただいている。

本出版会の抱える今後

の課題は、①編集業務の

充実、②著者負担の軽減、

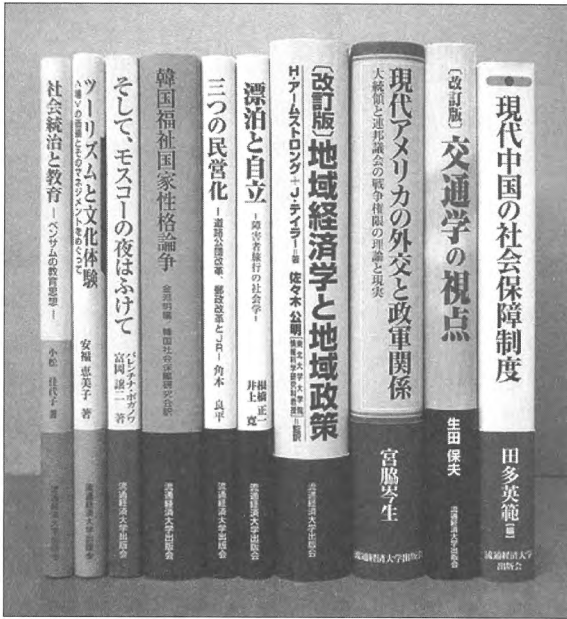
③出版会独自の企画出版、

④営業の強化、であるが、

今後とも地道に、東北地

方をはじめとする我が国

先端的学術研究の成果を、
平易に、社会に発信する
流通経済大学出版社



最近の刊行図書

●出版の理念

母体である流通経済大学の建学の趣旨は、「流通問題の学術的研究と実学的教育を以って広く国家・社会の発展に寄与すること」であります。

小会もこの趣旨の実現のために、社会科学領域の先端的学術研究の成果を、平易に、社会に向けて発信することを出版の理念としております。上掲の「最近の刊行図書」もこの理念の元に最近刊行した、あるいは刊行予定の図書であります。是非ご一読をお願いする次第であります。

●刊行図書のご注文・お問い合わせ

▼全国の有名書店でお求めいただけます。品切れの場合は、その書店にご注文ください。

▼直接小会にご注文くださる場合は、左記までお願い致します。その際は、五冊までは定価のほかに梱包・送料として五〇〇円を申し受けますので、ご了承ください。それ以上は梱包・送料は当方で負担いたします。

所在地 〒三〇二一八五五 茨城県龍ヶ崎市二二〇

電話 〇二九七一六四一〇〇〇一

FAX 〇二九七一六〇一六一五

郵便振替 〇〇一三〇一九一八八六一六

新しい大学の理念を表明する

聖学院大学出版会

「新しい時代の新しい大学」をめざして聖学院大学が設立され、二十年になろうとしている。数多くの大学がすでに存在する中で、しかも総合大学が林立する関東圏で、新たに大学を設置する意味は何かから検討され、人文学を基礎としたリベラルアーツ・カレッジの特色をもった大学づくりが目標とされた。大学出版部が設立されたのも、学生数三千人あまりの小さな大学がその教育と研究の特色を出版活動によって make public することであった。この出版部も設立十五年を経過した。

この間の出版方針は、第一に建学の精神であるキリスト教思想関係の書籍を出版することである。特に、近代社会の成立、また人権思想の確立とキリスト教の関わりを主題とした出版物である。第二に研究の成果を公開し、大学の



性格を明確にすることである。第三に教科書、参考書を出版し大学の教育を出版物によって開放することである。

第一の方針のもとでは、F・W・グラーフ『トレルチと文化プロテスタンティズム』、『トレルチ、ヴェーバー、イエリネック——ハイデルベルクにおけるアングロサクソン研究の伝統』、W・パネンベルク『近代世界とキリスト教』、などを出版してきた。

この夏に大木英夫著『ピューリタン——近代化の精神構造』を出版する。この本は中公新書として長く読み続けられてきたものであるが、このたび注記をつけ、また松岡正剛氏の「千夜千冊」の解説文「移住する会議者の宗教」を付して、新版として刊行するものである。

この本が主題とするピューリタンは、十七世紀のイギリスに登場した歴史的な群像であるが、その歴史的背景は現代におよぶ基本的人権と寛容思想の源流であり、「集会の意識」を生み出した近代民主主義思想の源泉である。

聖学院大学出版会は、大学が目指す近代的な価値の継承という理念を、出版物を通して表明しているのである。

出版はIT革命の中にあっても

人間を育成する機能を失わない

聖徳大学出版会

聖徳大学出版会は文字を読み考え実践するという姿勢を
絶えず構築することを目的として、本作り、出版のシステ
ム作りに専心してまいりました。

時代は転変するが、文字を読むという行為は創造しつづ
ける人間の本来の力を根源的に支えるものを与えてくれま
す。聖徳大学出版会は、書籍を媒介として学内外にものを
創造する知恵とエネルギーを提供する役割を担って、今後
とも前向きに出版にとりくんでいく所存です。

世界中が熱狂したドイツワールドカップも終わり、次は
二年後の二〇〇八年に北京オリンピックがやってきます。
既に予告いたしておりますように、オリンピック選手的心
理面のアドバイザーでもある、花沢成一・永島正紀著によ
る「心と身体の癒しシリーズ」の第三巻「こころとスポーツ」

が予定より遅れています。現在執筆進行中でありま
す。昨今、スポーツ選手にとってメンタル面の重要性が叫ば
れるようになってきました。著者の長年の研究による、様々
な具体例を取り上げ、心と体の関係を科学的に、かつ具体
的に解明していきます。本書によってオリンピックをはじ
め様々なスポーツの、今までとは違った見方ができると思
います。

そして「心と身体の癒しシリーズ」の第四巻として、日本
の家族心理界の第一人者であると同時に、本学の臨床心理
学研究科長でもある岡堂哲雄教授による「家族心理臨床入
門」II家族力の回復にむけてIIが現在執筆進行中でありま
す。『今日の混沌として悲惨な事件の多発している背景には、
家族関係の大きな変貌があると著者は指摘する。

かつて家族は人間の生存と子孫の養育のため必須の制度
と言われたが、現在は必ずしも「家族を持つ必要が無い」状
況になっている。しかし人間にとって「子どもが健康に成長
するには母子の絆」と「父親を含む親子の絆」が健全な発達
に不可欠と強調し、家族力の回復にとって父親の存在が重
要なポイントの一つであることを臨床心理学の視点から論
究した注目内容となっている。』どうぞご期待ください。

エトワース・ノイエス

麗澤大学出版会

校名の「麗澤^{れいたく}」という語は、中国の古典『易経』の「象曰。麗澤兌。君子以朋友講習」という言葉に由来する。本学の創立者廣池千九郎（法学博士・一八六六〜一九三八）は、その精神を「麗澤は、太陽天に懸りて、万物を恵み潤し育つる義なり」と説明している。我が麗澤大学出版会の出版理念が、この「麗澤の精神」の発揚にあることは言を俟たない。

一方、日々の出版活動に動しみつつ想起することがある。「山椒は小粒で……」という言いまわしがある。我らが麗澤大学出版会のスケールは、たしかに決して大きくはない。ゆえに「小」なればこそできることを地道にやり遂げたい。「ぴりりと辛い」かはともかくも、渋くて、味のある、しかも「噛めば噛むほど味の出る」ような、価値持続性（お

断りしておくが、造語である）の高い出版を目指したいと願う今日この頃である。

●最新刊五冊

▼由水常雄著『天皇のものさし——正倉院撥鏝尺の謎』（二一〇〇円）。天皇しか持つことを許されなかった、知られざる美術品・撥鏝尺の歴史と謎に迫る極上の歴史ミステリー。

▼ロバート・ハイルブローナー著／宮川公男訳『企業文明の没落』（一八九〇円）。米国を代表する優れた経済史家が語る資本主義と企業文明の未来像。

▼吉田和男著『現代に甦る陽明学』（二二二〇円）。気鋭の社会科学者が、現代に通じる警世・実践の書として、『伝習録』を評釈する。

▼我妻和男著『タゴール——詩・思想・生涯』（二二二六〇円）。タゴール研究の第一人者による、「現代のルネッサンス人」タゴールの全体像を描いた画期的評伝。

▼入江隆則著『衰亡か再生か 岐路に立つ日本』（二四一五円）。戦後論争に決着をつける力作評論集。



『タゴール』

二二世紀における文明の継承を目指して

慶應義塾大学出版会

●創立六〇年から、慶應義塾創立一五〇年へ

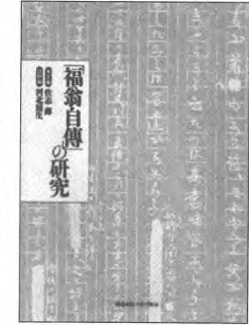
当社は、本年の一二月をもって創立六〇年を迎えます。同時に、一九九六年の社名変更以来（旧社名「慶應通信」）、ちょうど一〇年となります。

この一〇年間で、新刊の刊行点数が年間一〇〇点を超えるまでに伸長し、この間、サントリー学芸賞、日経・経済図書優秀賞、労働関係図書優秀賞、大平正芳記念賞、和辻哲郎文化賞、山本健吉文学賞などの受賞の光栄に浴しました。

二年後、二〇〇八年には、日本最古の私学である慶應義塾が創立一五〇年を迎えます。この大きな節目を機に、当社では、慶應義塾の知的創造、文明の継承活動の成果発信に、さらに微力を尽くしてまいります。

●新刊のご案内

▼『「福翁自傳」の研究 本文編・註釈編』（本文編Ⅱ佐志



傳編著・註釈編Ⅱ河北展生編著／B5判、本文編三五二頁・註釈編四二八頁、定価二八、三五〇円）福澤諭吉最晩年の代表著作に厳密な考証による本文校訂と註

釈を施した研究者必携の書。

▼『セイヴィング キャピタリズム』（R・ラジャン L・

ジンガレス著、堀内昭義ほか訳／定価三、六七五円）「資本家から資本主義を救う」には？ 資本市場がしばしば政治的に歪められてしまう原因を明らかにする啓蒙的経済書。

▼『歴史学と社会理論』（P・パーク著、佐藤公彦訳／定価六、〇九〇円）「社会理論」は歴史研究にとって何の役に立つのか？ この問いに文化史研究の第一人者が明快に答えた名著の本邦初訳。

▼『日本の英語教育に必要なこと 小学校英語と英語教育政策』（大津由紀雄編著／一、八九〇円）日本の英語教育政策を多彩に論じる「小学校英語」第3弾。

洋書・和書の垣根を越えた活動へ

——世界最古の出版社

Cambridge University Press (ケンブリッジ大学出版局)

Cambridge University Press(ケンブリッジ大学出版局)は、イギリス国王ヘンリー八世の勅許状を受け、一五三四年に創立された世界最古の歴史を誇る出版社である。「あらゆる分野における知識の取得、向上、保存、普及」を目的し、年間約二五〇〇点の書籍及び約二〇〇点のジャーナルを出版、世界各国にオフィスを設け、販売活動を展開している。日本においては、学術書・英語教育教材(ELT)・スクールテキストの販売促進を行うマーケティングオフィスとして活動をしている。二〇〇六年には版權業務が本社から移管され、翻譯権の販売も開始。今後は和書の市場にも目を向け、日本向けの出版事業等を通し活動範囲を広げていく予定である。大学出版部協会の加盟を機に、「大学出版部」として共通点を活かしながら、今後、洋書と和書の垣

根を越えた活動に貢献していきたいと考えている。以下に当出版局のコアとなる二つの出版分野を紹介する。

▼学術書—人文・社会・自然科学の全ての分野において、テキストブックから専門書まで幅広く出版を行っている。日本においては、言語学、数学、地球科学の分野でニーズが高い。近年は法律、工学、医学における出版点数を増やし、学術世界のみならず、プロフェッショナルの世界にも読者を広げている。さらに今年に入り、オンライン商品の販売も始めている。▽The Historical Statistics of the United States 5 Volume Set(2006 ISBN: 0521817919) ▽A History of the English Language(2006 ISBN: 0521662273) ▽Wireless Communications(2005 ISBN: 0521837162) ▼英語教育教材(ELT) —コースブック、セルフスタディ、教師向け指導書など、英語教育に関わる出版物全体を扱っている。この分野ではすでに日本向けにバイリンガル版や和書の出版を手がけている。▽Cambridge Grammar of English Paperback with CD ROM(2006ISBN: 0521674396)▽マザーフィーのケンブリッジ英文法

中級編(2005 ISBN: 4902290057)



確かな理論とたゆまぬ実践に裏打ちされた

『真に機能するマネジメント』の啓蒙を目指す

産業能率大学出版部

産業能率大学出版部の母胎である産業能率大学の淵源は、昭和十六年日本における最初のマネジメントコンサルタンとと称される上野陽一が日本能率学校を設立したのに始まります。その後、昭和二十五年に産業能率短期大学を設立し学校法人となり、昭和五十三年に産業能率大学（四年制）開校の運びとなり、平成三年には大学院も開設されました。マネジメントコンサルティンク機関からの生い立ち故に、産学協同の理念の下、マネジメントの理論研究（学校）と実践（コンサルティンク・企業人教育）を両輪に据えたユニークな活動を展開してまいりました。この活動の成果を社会に還元し、少しでも多くの個人や組織体に役立てていただくことを意図して設立されたのが当出版部です。

出版部の正式の発足は昭和四十年ですが、その前身は昭

和三十年に発行を始めた「能率ガイド」の編集・出版に遡ります。三十一年に誌名を「マネジメントガイド」（現在、休刊）と変え、当時としては数少ない総合経営月刊誌としてスタートしました。その後、雑誌の刊行を続け、昭和四十年にこれらの伝統を生かし、経営・管理（マネジメント）を中心とした単行本の編集発行を続けてまいりました。

▼SANNONOMANAGEMENTコンサルティンクシリーズ

（学）産業能率大学TM研究会編著「テクノロジ・マーケティング技術が市場を創出する」（二六二五円）

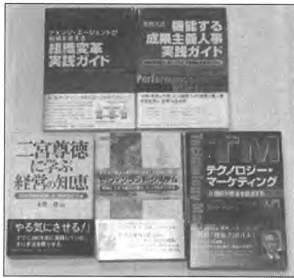
（学）産業能率大学総合研究所編著「チェンジエージェンツが組織を変える組織変革実践ガイド」・「産能大式機能する成果主義人事実践ガイド」（各二五二〇円）

▼矢田龍生・矢田晶紀共著「ザ・フィンランド・システム」

（二三二〇円）日本再生の鍵は、フィンランドにある。

▼大貫章著「二宮尊徳に学ぶ経営の知恵」（二八〇〇円）六〇

〇の村を救済した「報徳手法」とは。



ひろく学術・研究活動に寄与すること、
社会にインパクトをあたえる出版をめざす

専修大学出版局

小局は大学関連法人の一部局であることから、株式会社
の「民」と、大学関連サービ部門連合体という、両面の
性格を合わせ持っている。当初は大学学長のエッセイや、
明治期の建学精神解説書などが刊行された。その後、本学
図書館蔵の古典籍を、料紙や織を鎌倉・室町期の原本に忠
実に復刻した『古典籍影印叢刊』を出版。そういった大学
主導の流れは今、刊行助成制度の形で継続している。この
出版に厳しい折柄、多くの本を刊行助成に頼る傾向はやむ
をえず、また局員の減少もあって、多くの読者が想定され
うる、良質の教養書に向かう気持ちもあるが、実行は簡単
ではない。なかなか理想の場所に行き着かないのが実感だ
が、ともかく一歩ずつ前に進むしかないようである。

▼最近の若者たちが見えにくい、として企画されたのが香



山リカ、芹沢俊介、他著『はらんする身体』（二〇〇ペ
ージ・一八九〇円）である。「はらん」の意味は、反乱
であり、かたや氾濫でもある。香山氏が、若者が抱えてい
る生きづらさと、その結果表出される目に見える言動パ
フォーマンスについて分析。芹沢氏が若者の身体性の基軸
はすでに非身体的身体性に移行していると指摘しているの
は興味深い。▼少子化の将来についてはさまざま憶測が
あるが、統計図表を駆使して表題テーマに迫ったのが江崎
雄治著『首都圏人口の将来像』（二九四〇円）。さびれてい
く郊外風景の中で、地域作りや暮らしの構築の大切さを訴
える。

▼他に、専修大学出版企画委員
会編『知のツールボックス』
（六三〇円）、高年齢者の自助精神、
遺言、年金・福祉、葬送の個人
化などを概説した、高木侃編、
山折哲雄、他著『老いの相生』
（三二〇円）がある。

広い心(寛容)と思いやり(慈悲)を

大正大学出版会

本学は、仏教精神を建学の理念として設立された大学であり、また複数の伝統教団がその設立の母体となっているユニークな大学です。仏教学、宗教学の分野においては永年の研究成果の蓄積があり、出版の中心になるものと考えています。そして、仏教の精神は、他の学問分野においても生かされており、社会福祉学、国文学、史学等、及びその周辺領域においても、他とは異なった個性ある成果を公刊ができるのではないかと考えています。

「大正大学出版会」と改称し新たにスタートして、五年目を迎えます。学術研究成果の公開としての質の高い学術書の刊行を目指すとともに、学生・一般読者を対象としたTU選書(啓蒙・教養書)についても継続的に刊行できるように努めていきます。

●お薦めの新刊



『対話する宗教——戦争から平和へ——』星川啓慈著

宗教の排他性や戦争に加担する側面を冷静に見つめながらも、それらをいかに乗り越え、世界平和を構築するかを論じる。四六判 一九六頁 定価一九九五円

『現代における宗教者の育成』(財)国際宗教研究所編・弓山達也責任編集

宗教者の宗教性、スピリチュアリティを一定のレベルで持続させ、どう高めてゆくかということは宗教教団の最も深刻な問題である。次世代の信仰の担い手の育成についての諸問題を論じる。A5判 二〇八頁 定価二五二〇円

『梵文維摩経』(大正大学総合仏教研究所編) B5判 一五六頁 定価五二五〇円

『釈浄土群疑論の研究』(金子寛哉著) B5判 六四八頁 定価一三六五〇円

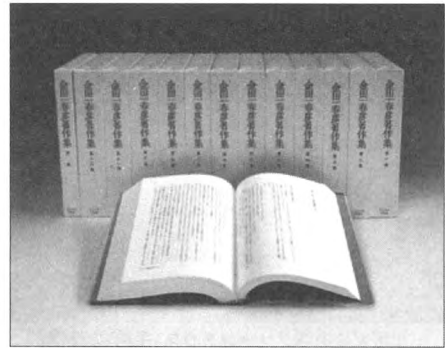
高度なりベラルアーツの発信を目指す

玉川大学出版部

● 知の再編成に向けて

学問の専門化、細分化が進む一方、知の広さと深さが求められている。玉川大学では二〇〇七年四月に向け、リベラルアーツ部の開設を計画しているが、リベラルアーツとは、人文科学から社会科学、自然科学にわたる広範な学問領域のなかでの総合的な知の結集を図るものである。

当出版部でも、従来のジャンルにとらわれず、高度なりベラルアーツを広める出版活動を展開している。最近では、今春完結した『金田一春彦著作集』（全十二巻、別巻一）、近世庶民の必読書であった浄瑠璃正本を再現する『義太夫浄瑠璃未翻刻作品集』（第一期、全十二巻）などの大型企画のほか、今年生誕二五〇年を迎えたモーツァルトを多角的にとらえる『モーツァルト スタディーズ』など、



金田一國語学の全貌をあきらかにする全12+1巻

幅広い分野での書籍を刊行し、時代に要請される知の枠組みの構築に挑戦している。

● 教育書の充実

また、「教育の玉川」として学界に絶えず多大な影響を与えてきた教育書にも引き続き力

を入れ、今春には大学一年次教育のテキスト『大学生活ナビ』を刊行。秋には『増補改訂版 ペスタロッチー・フレール事典』の出版も予定している。さらに『玉川児童百科大辞典』以来の伝統をもつテーマ「こども」もひとつの柱とし、谷川俊太郎・和田誠『ともだち』、和久洋三『遊びの創造共育法』（全七巻）などにも取り組んでいる。

玉川大学出版部は知を横断的かつ包括的にとらえ直し、最先端の出版活動をおこなう。そして、リベラルアーツの観点から、読者に多くの刺激的な視座を提供することを目指している。

学術出版の明日を担う

中央大学出版部

●草創期の出版

本学は明治一八年、英吉利法律学校設立の当初から、英米の法律書の翻刻出版や、広く学問を志す人々のための校外生制度を設けて講義録を発行した。後に大審院判決録や行政裁判所判決録の編集を委託され、逐次「判決録」を刊行するとともに、法律書を中心に有為な出版を続けてきた歴史を有する。第二次大戦中は出版事業を中断せざるをえなかったが、昭和二三年にいち早く立ちあがり、出版部を創設し、学内の学術機関誌・叢書等の編集発行業務を受託するなど幅広く精力的な出版活動を展開してきた。

●将来の展望

昭和五三年の多摩移転を契機に、充実した学術書刊行の機運が一層高まり、学術の振興並びにわが国の文化の向上

に寄与する良書の刊行を目的する出版助成制度も整備され、大学の積極的な協力を得ながら、法律書をはじめ社会科学、人文科学、自然科学にわたる幅広い出版活動をつづけ知的生産機関としての責務を果たしてきた。

緑豊かな多摩に移転して既に二八年を経たが、この間、大学は学部・学科の新増設をはじめ研究所の充実、大学院改革などに取り組み飛躍的な発展をみた。また教育・研究環境の整備・充実にもあけて取り組んできた。出版部はこうした学内外の学術・文化の進展に呼応して学術書、専門書をはじめ多様な学術誌を刊行し、学術研究の成果を積極的に発信する役割を果たしてきたが、急速な国際化、情報化、学問の学際化の時代を迎え、出版の環境も大きく変わろうとしている。学術文化の発信という重大な社会的責務を一層自覚し、積極的な出版活動の担い手たり得たいと念じている。



出版部のあるグリーンテラス(手前)の建物

的に発信する役割を果たしてきたが、急速な国際化、情報化、学問の学際化の時代を迎え、出版の環境も大きく変わろうとしている。学術文化の発信という重大な社会的責務を一層自覚し、積極的な出版活動の担い手たり得たいと念じている。

東京大学出版会

ユニヴァーシティ・パブリッシングを目指す

一九五一年に国立大学のもとでは初めて設立された本会
は、これまで六千余点にのぼる新刊書籍を刊行してきた東
アジア有数の大学出版部である。執筆陣も東大関係者・日
本国籍者を越えて広く世界に求めてきた。そして、その書
籍は、①基礎的かつ開拓的な学術研究を体現する学術書・
専門書、②基本的かつ先端的な高等教育を支える教科書・
教材、③通時的かつ同時的な主題に取り組んだ教養書・一
般書、④シリーズ・講座など、まさにユニヴァーシティ
(総合大学)にふさわしい多種多様なもので構成されてい
る。今後、変化する状況を見通しつつ、パブリックな行為
としての出版部活動を東大キャンパスを基点にユニヴァー
サルに展開していきたい。

▼東京大学の新しい英語教科書『On Campus』『Campus

Wide』が誕生！ベストセラー「ユニヴァース」シリー

ズから「読んで面白いテキスト」「詳細な注によるナビゲ
ーション」を継承、今回の全面改訂では日本人が英語で情

報発信する場面も意識。二冊

で文・理計28の、現代を語る

テーマを網羅。(B5判・各

約二〇〇頁・定価一七八五円)



▼シリーズ「都市・建築・歴史」全10巻 完結

場所が喚起する力は絶大である。人びとの営み・思想・
文化、そして時代背景は、彼らがつくり出し、そのなかで
生きてきた、都市・建築に如実にあらわれている。

本シリーズでは、建築史の関連分野(建築学・都市設計

学・土木工学ならびに各国史・考古学・美術史・技術史)

の第一人者が集結し、各時代の性格を明らかにするテーマ
に沿って、多彩な地域・対象を取り上げて个性的に論じる。

時代軸以外の魅力的な切り口がいくつも見つかる、空前
のコラボレーション。「場」と対話しつつ味わいたい。(A

5判・各約四〇〇頁・定価各巻三九九〇〜四八三〇円)

科学技術と教育を出版からサポートする

東京電機大学出版局

初代学長の「技術は人なり」という技術教育に対する精神を踏まえ、「教育・研究の成果を元に新しい情報を世に送り、学術・知識の普及に努める」の理念を掲げて出版活動を行っている。今後も同様に、科学技術の発展と大学教育

の変革に対応しつつ、出版活動を通して次代を担う想像力と意欲に満ちあふれた読者を支援していきたい。また、eラーニングやデジタルコンテンツなどに対応した二十一世紀の新しい教科書の開発にも積極的に取り組んでいる。そのためには、読者・著者・書店等との情報交換を一層活発化させることが必要と考えている。

また、本学創立一〇〇周年を来年に迎えるにあたって、記念出版を計画している。これを機に、次の一〇〇年においてもよりよき出版活動を進めていきたい。

▼根日屋英之・小川真紀著『ワイヤレスブロードバンド技術』（A5判、一九二頁、一三三〇円）情報通信はブロードバンド（高速大容量伝送通信）の時代に突入し、有線通信はADSLからFTHへと進化した。さらに移动通信を主体として、有線ブロードバンドとワイヤレスブロードバンドの融合が試みられている。本書では無線LANと第4世代携帯電話を中心として、その最先端の技術を解説した。



▼日本イーラーニングコンソーシアム編『eラーニング白書2006/2007年版』（B5変型、四五二頁、三六七五円）経済産業省報告書「平成一七年度情報経済基盤整備（アジアIT人材育成）」をもとに編纂されたeラーニングに関する唯一の白書。eラーニングの最新動向と豊富な活用事例を企業・高等教育・ビジネス・システム・政策等の観点からそれぞれ分析。eラーニング関係者必携の一冊。



二十一世紀の農学を人類へ発信し続ける

東京農業大学出版会



初代学長 横井時敬

当時の農業教育に貢献してきました。

以来、東京農業大学刊行会を経て東京農業大学出版会へと発展し、八十年を越える長い歴史と伝統の中で、時代の農学をわかりやすい出版物を通して社会へ伝える役割を担っています。

現在東京農業大学では、全世界的な課題となっている「食料・環境・健康・資源エネルギー」について、あらゆる可能性に挑戦し、最先端の農学によってこれらの課題に

取り組んでいます。一方で自然や動植物は、私たちの日常生活には欠かせない身近な存在になっており、里山が見直されるなど、人間と自然や動植物との共生が重要視されてきました。

この様に農学のあり方や求められ方が多様化している中で、当出版会は常に社会のニーズに対応し、東京農業大学と社会における文化・教育活動を結ぶ役割と使命を認識しつつ、継続した出版事業を展開してまいります。

●好評！刊行物のご案内

▼東京農大の原点である「実学」をテーマにした

『実学の森』シリーズ

▼国内のキャンパスほか、海外の姉妹大学や研究調査地などをリアルな写真集にまとめた

『1000の素顔』シリーズ

●新刊書のご案内

▼『森を歩き 森を学び 森を楽しむ』河原輝彦 著

税込価格…二、二〇五円

▼『新世紀の食と農と環境を考える』

第5回世界学生サミットから／東京農業大学 編

税込価格…二、三二〇円

西洋の知を紹介し、日本の伝統を探り、
そしていま、東アジア文化圏へ――

法政大学出版局

小局は一九四八年十二月、法政大学創立七十周年事業の一環として設立され、以来五十八年間にわたって、およそ三千点におよぶ専門研究書、教科書、一般教養書を刊行してまいりました。

とりわけ翻訳シリーズ《叢書・ユニベルシタス》は、現在八五〇点に達し、主として西洋の知を網羅的に紹介する「書物による大学」として、高い評価を得ております。最近では、H・アーレント／青木隆嘉訳『思索日記・I・II』、J・アーリー／吉原直樹監訳『社会を越える社会学』などが各紙誌で紹介され、話題をよびました。

一方、書き下ろしのシリーズ《ものと人間の文化史》は、「もの」をその根源から問い直し、「もの」のかかわりや営々と築かれてきた暮しの具体相を通じて歴史を捉えます。



《ものと人間の文化史》より、増川宏一『遊戯』

数えます。スタートしてから四十年近くを経て、今なお多くが版を重ねています。

また近年、東アジア関連の著作の翻訳・紹介にも力を入れていきます。とくに《韓国の学術と文化》全30巻（既刊、兪弘濬『私の文化遺産踏査記』など24点）は、西欧偏重の学界・読書界に一石を投じたものと自負しております。単行書では、李英美『韓国司法制度と梅謙次郎』、丸山直起『太平洋戦争と上海のユダヤ難民』、任展慧『日本における朝鮮人の文学の歴史』、呂元明／西田勝訳『中国語で残された日本文学』、銭存訓／宇津木・沢谷・他訳『中国古代書籍史』なども話題となりました。銭存訓／久米康生訳『中国の紙と印刷の文化史』を鋭意制作中です。

今秋には、松岡末紗『衣（ころも）風土記・I・II・III』の刊行を開始します。日本人の衣服の原点を求め、失われた日本人の心を再発見する旅の記録です。ご期待下さい。

一般読者の熱い支持を得て、『結び』『筆』『白』『薬』『和船』『野良着』『食具』『道』『捕鯨』『ものけ』など一三四点を

市民の生涯学習に貢献する

武蔵野大学出版会

武蔵野大学出版会は、設立が二〇〇五年四月、大学出版部協会加盟が二〇〇六年五月である。今まさに「初心」の最中にいる。「初心忘るべからず」と言える日はまだ遠いが、初心の新鮮さをむしろ強みに変えていきたい。

当出版会の使命は、武蔵野大学教員の研究成果の発表の場の創出と、一般の人にも享受できる形での社会への還元である。この両方のバランスのとれた刊行を心がけたい。

武蔵野大学は、多数の公開講座や通信教育部などにより、在学生の教育と併せて市民の生涯学習を支援する活動にも熱心である。それを受けて当出版会も教養書の出版を通じて市民の生涯学習に貢献することを特徴の一つとしていきたいと考えている。

研究成果の発表については、大学の図書出版助成制度に

より、年間二〜三点の学術書の出版費用が助成され、「武蔵野大学シリーズ」として当出版会が刊行している。

―武蔵野大学シリーズより―

▼佐藤晴雄著『メアリランドへ行こう―フレデリック・ダグラスとその時代』（二六二五円）一八三八年アメリカ、

一人の黒人青年がボルチモアから汽車に乗った。自らも奴隷出身の奴隷解放論者F・ダグラスの足跡を現地にたどる。

▼本多周爾著『発展と開発のコミュニケーション政策』（二六二五円）インフラ整備の容易化のために通信衛星を

選択した東南アジア諸国。衛星放送による外国文化の流入の前に、メディアによる国民統制の思惑ははずれ…。

▼菅富美枝著『法と支援型社会―他者指向的な自由主義へ』（二六二五円）危難に遭った人を助けないと罪に問われる

強制社会でもよいのか？ 人助けを

したいのも人の本性。ならばそれを

容易にする仕組みを作るのも法の役割。



「武蔵野大学シリーズ」は大学の図書出版助成制度により刊行

アートと社会をむすぶ

武蔵野美術大学出版局

●美大ならではの視座

生涯学習社会における美術、デザインの専門教育にとりくむため、武蔵野美術大学は二〇〇二年に造形学部通信教育課程を開設、オリジナル教科書を一挙に刊行しました。アートと社会をむすぶ機関として、美術、デザイン、學術文化にかかわる広範な分野の出版を行っています。

●新正卓写真集『黙示』

ある再会が写真家・新正卓を「社会派」に転じさせた。一九七〇年代、華やかなコマージュ・フォトの世界にいた彼が、九〇年に『私は誰ですか』という簡素な写真集を上梓する。電話帳のような重量。彼らの親探しのために無償で行われた撮影である。新正はどこにでも八×一〇^{センチ}を担いでゆく。八×一〇の重装備で、彼は南米移民一世をひと

りずつ訊ね歩き、肖像を撮る。同時にブラジルの娼婦の笑顔をとらえ、つぎには滅びゆく民ネイティブ・アメリカンの現実をつかむ。シベリアの日本人捕虜収容所の跡地にその痕跡を求めたかと思えば、アメリカの強制収容所にまなざしをむけ、眠りつづけた五〇年の封印をといた。彼が「移民」「棄民」にこれほどとらわれるのは、自身が九歳で満州（中国東北部）の地で敗戦をむかえ、そこで別れた乳母と数十年を経て再会をはたしたからばかりではあるまい。大地への思い、名も無き人びとへの思いは、彼自身のなかにある——日本人とは何だろう——希求にほかならない。



新正卓写真集『黙示』
B4判変型、ダブルトーン＋カラー、180頁
7000円（予価）、10月下旬刊行予定

その新正がピンホールカメラで「さくら」を、そして境界をテーマに「海」をとらえた。新旧九つの写真集アンソロジー『黙示』は、われわれに何を見せるのだろう。

開かれた大学で
生涯教育をめざす

明星大学出版部

一九七五（昭和五〇）年七月、「教育の機会均等、門戸開放」の基本理念によって、「開かれた大学で生涯教育をめざす」という大学拡張の方策に応え、出版、放送、公開講座の実現が具体化され、その一環として株式会社めいせい出版が設立されました。

一九七九（昭和五四）年四月、社名を株式会社明星大学出版部と変更し、学術書、啓蒙書、テキスト等を出版する本格的な活動を始めました。

●出版方針

- (1) 講義テキスト、教授資料の発行
- (2) 研究開発の結果としての専門学術書の発行
- (3) 学術的啓蒙書の発行
- (4) 一般の読者を対象とした教養書の発行



●これまでの刊行物

昭和五十一年、学生・社会人を対象に「めいせい教養選書」シリーズ、通信教育課程のテキストシリーズとして「大学講座」「小学校教職講座」を刊行、また同年「明星ものがたり」を出版、これは戦中戦後の私学教育の証言でもあります。

以後、CIE関係の資料を含む「占領教育文書」シリーズ、「資料文政審議会」「明星図書館学講座」など。

近年は、教員養成科目のテキストを中心に、「子どもの発達と環境」「総合演習」「初等社会科教育法」「五線譜の約束」（初等音楽教育）、またコンピュータ学習の「情報リテラシー」などがあり、平成一八年は、初等教育、教育の実践と方法、教育行財政をテーマとする教育学関連の書目を予定しています。

ユニバーシティ・エクステンション

早稲田大学出版部

●これまで——早稲田大学出版部の前身、東京専門学校出版局は、一八八六（明治一九）年に発足した。ふと気づくと創立一二〇年を迎えようとしている。

現在刊行中のシリーズを挙げると、年頭に刊行した『グローバル・コミュニティ』が第四巻目になる「アジア太平洋研究選書」、比較家族史学会監修「シリーズ比較家族」（第Ⅰ期全10巻完結、第Ⅱ期全5巻完結、第Ⅲ期刊行中）〔既刊3巻〕、「叢書ワセダ・リブリ・ムンディ」（既刊三巻）ほか、併せて五本ある。そして今春、「比較政治叢書」の刊行を開始し、第一巻『民主主義アイデンティティ』は高い評価を得た。シリーズを中心にして著者の窓口が広がっている。

単行本では、早稲田大学のCOEプログラムの成果とし



恒川恵市編『民主主義アイデンティティ——新興デモクラシーの形成』（比較政治叢書第1巻/2940円）

て『明るい鏡 ルネ・クレールの逆説』『現代演劇と文化の混淆』を刊行した。また、大学のプロジェクト研究所からは『世界のNPO』がまとまり、所属を異にする著者の集結によって『ヨーロッパ・デモクラシーの新世紀』が生れた。ぜひ書店で手にとっていたいただきたい。版元の現在は刊行書目が語っている。

●これから——当部の定款では、事業の目的の一つとして、早稲田大学の目的達成に寄与するための事業を行うことと定めている。研究・教育・啓蒙という大学の三つの機能に対応する専門書・教科書・啓蒙書を中心とする出版活動は、今後も従来どおり続ける。また、早稲田大学は来年、創立一二五周年を迎えるに当って「独創的な先端研究への挑戦」「全学の生涯学習機関化」「地球市民の育成」の三つの目標を立てている。こうした大学の改革に即して、学術性と市場性のバランスの取れた出版活動を展開していきたい。

そろそろ創立四十五周年

東海大学出版会

●元気な分野

東海大学出版会の創立は一九六二年。そろそろ四十五周年を迎える。社会人ならずし「脂の乗り切った年齢」であるが、現実はそのなかに甘くない。「絶好調」という言葉の意味合いは何時の間にか忘れつつあり、伸び切らない売上を横目に「そんなに悪いわけではない」という曖昧表現を多用して久しい。しかしすべてがそうでもなく、なぜか、生物・生態関連書の「調子が良い」。この他に、『虚数の情緒』や『光学の原理』（全三巻）などの理工学書も加えなければならぬだろう。東海大学出版会が『日本産魚類大図鑑』を刊行したのが一九八四年。以来その成果は『日本産魚類検索（第二版）』（二〇〇〇年、英文版は二〇〇二年）に継承されて魚類学の定本となり、二〇〇五年に



シリーズ、『藻類30億年の自然史』、『魚類環境生態学入門』、『魚のつぶやき』、『生と死の自然史』、『美ら島の自然史』などがある。

●遺伝と進化

さて、全体状況が今一なのに、なぜ特定分野の「調子が良い」のか。この現象の理由は意外とシンプルなのかも知れない。生物・生態分野の編集者が三世代、二十五年間この分野の編集活動を継承している。人的継承だけで事がうまくゆくものではなく、そこには「編集者の資質」が大きな要素を占めることはいままでもないが、生物学的モデルを適用すれば「遺伝と進化」という現象が組織内で起きていく」ということになろうか。

これは案外人の出入りの激しい大学出版部の「組織運営論」に通ずる話かもしれない。

丁寧で質の高い本作りを続ける

名古屋大学出版会

●中日文化賞の受賞

小会では、このたび第59回中日文化賞を受賞いたしました。「学術分野における先駆的出版活動」を評価されたことです。ローカルな賞だと思われるかもしれませんが、出版社がいただいたことに意義があると考えております。これも日頃ご支援くださっている大学出版部協会はじめ関係者の皆様のおかげです。ご報告とあわせて、喜びを分かち合いたいと存じます。

●一冊一冊の本が目指すものを大切に

このように小会は中部圏に軸足を置きながら、開かれた大学出版会の実現をはかっております。

とはいえ、なにか特別のことをしようとしているわけ

はなく、当たり前のことを手を抜かずにする——具体的に、価値ある研究に積極的に働きかけて出版企画を作り、原稿にたいしては粘りづよく構えてレベルを下げず、しっかりと読んだうえで一冊一冊丁寧に本をつくる、そしてもちろん、一人でも多くの読者に読んでいただけるようアクティブに販売する、といったことです。当たり前のことをきちんとするのはなかなかたいへんですから、それ以外に特に大きな目標を掲げることにはしておりませんが、一冊一冊の本が目指しているものが大きければ、それで十分だと思っております。

●シリーズ現代中国経済

ちなみにこの6月末、

『シリーズ現代中国経済』全8巻を完結させることができました。

この領域の新しい水準を画したと言われる好評のシリーズです。ぜひ御一読ください。



『シリーズ現代中国経済』全8巻

もっと人生・仕事・愛……

三重大学出版会



●経営の現状 二〇〇五年度七点の図書を出版し、出版

点数通算、九〇点。常勤従業員一名

●今年目標 出版十点、販売各七〇〇冊

●ミッション 小社は「伊勢文化」を社風とする出版会です。「伊勢講」「伊勢暦」で連帯する「伊勢文化システム」は、神官が開拓した通商型のシステムです。庶民を相手にすること、使命感を持つこと、広く世間を知ること、お買い得な商品を提供することを実行します。

●近刊 上島亮著『世界猿文化紀行』四六版三四〇頁
(本体二四〇〇円＋税)

1章 日本文化圏／猿と信仰／猿と芸能／猿と医療／猿と文化

2章 中国文化圏／北京原人／チベットの猿神／孫悟空／

世界猿文化紀行



上島亮著

道教の白雲館／中国の

猿玩具職人／敦煌の猿

神

3章 インド文化圏／

ハヌマン／猿の仏教説

話／インドの猿玩具／

アジャンターの猿神

4章 インドシナ文化圏／バリ島の猿／ボロブドールの猿

神／アンコールワットの猿神

5章 南アメリカ文化圏／ナスカの猿絵／マヤ文明の猿神

6章 ヨーロッパ文化圏／マイセンの猿楽団／西洋絵画の

中の猿

7章 エジプト文化圏／考古学博物館の猿神／ルクソール

の猿神トト／ヘルモポリス・マグナの猿神トト

8章 まとめ

●近刊 広瀬英一著『ドス・パソスを読む』A5判 二〇〇頁(本体一八〇〇円＋税)

21世紀の学術コミュニケーションの核を目指す

京都大学学術出版会

日本が誇る価値ある研究を英文で刊行する——この点で当会は、我が国の学術出版の先頭を切っていると自ら信じていることが出来る。そのために、シンガポール、オーストラリア等の大学出版部・学術版元と提携し、質の高い英語編集態勢と確実な販路を確保しているが、このようにコストをかけ、日本語で刊行する場合に比べ数分の一の利益に甘んじているのは、ひとえに、成果の国際的評価が求められている今日の研究状況を真摯に受け止めるからである。

当会が、『生態学』に象徴される領域包括的な本格的概説書の刊行を意識的に進めるのも、同様の立場からである。すなわち、研究が高度化する一方で、細分化の弊害が指摘される今日、隣接する領域をつなぐ over review は、創造的研究の基礎となる。こうした本格的概説書は、欧米の学



『生態学』（ベゴン他、B5／1300頁）、シリーズ『Kyoto Area Studies on Asia』、『学術選書』

術版元は積極的に取り組んでいるにもかかわらず、我が国においては、大量流通を前提にした市場に適合的でないという理由から等閑視されてきた。当会はあえてこの分野に挑戦することで、むしろ大きな利益を上げていく。『西洋古典叢書』『東洋史研究叢刊』『地域研究叢書』等、当会は設立以来、それぞれの領域を代表する良質の研究を逐次刊行するよう意識してきた。これらも、ややもすると近視眼化しがちな今日の研究状況の中で、新しい発想や方法の源に接するものとして歓迎されている。さらに昨秋からは、「科学離れ」を克服し科学の裾野を広げるべく、一般向けのシリーズ『学術選書』の刊行を開始した。このように、学術出版を「学術コミュニケーション」の環の中で意識することが、当会の基本的発想である。今後は学術情報の電子化に対応する成果公開方法を開発することも含め、「21世紀の学術コミュニケーションとは何か」、模索しつつ、その核となれるよう、いっそう精進したい。

アジアと地域を結ぶ

大阪経済法科大学出版部

●小部の特徴

小部の母体である大阪経済法科大学は、一九七一年に「経済学と法学の統合的な教育」を基本的な教育理念とし、「国際化・情報化時代に対応する産業界の即戦力となる人材を育成」することをめざして創立された経済学部と法学部を擁する大学である。そのような理念のもとに、アジアを中心に国際交流の促進や地域・社会との協力を目指している。

このような流れは小部刊行物の分野においても脈々と息づき、アジアとの連帯・共生、地域社会への貢献を二大テーマとして掲げている。アジア関係の政治・経済・歴史を中心とした学術書を刊行し、その中心をしめるアジア研究所研究叢書は一二巻まで刊行されている。

また大阪・河内という地域をもとに研究成果の情報発信・刊行にも力を入れていきたい。

●近刊案内

『満州事変前夜における在間島日本総領事館文書(下)』

大阪経済法科大学間島史料研究会編 (A5判・函入り・九八〇頁・予定価格二六二五〇円)

本書は中国各地の領事館に勤務した外務書記生・伊地知吉次が収集し、帰国後も保管していた関係諸文書を項目別に分類整理し、解説を加えたものである。

資料は伊地知が勤務した「在間島総領事館文書を中心に、鉄嶺事件・間島朝鮮人武装蜂起等の激動の地」鉄嶺・間島領事館、広東総領事館文書等、明治初期から彼が勤務した昭和初期の満州事変前夜の数カ月前までにおよぶ。

領事館の消失や敗戦時の外交文書の散逸や消失や押収などがあり、貴重な資料でしめられている。



【既刊】『満州事変前夜における在間島日本総領事館文書(上)』
(定価26250円)

大学の文化事業の柱として

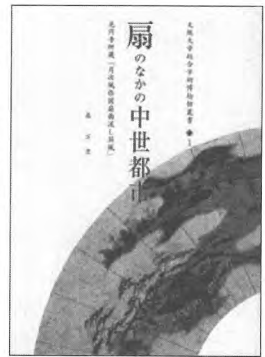
大阪大学出版会

大学の教育・研究および社会貢献を支援する文化事業として出版活動を位置付け、大学との連携を進めています。

四つのミッションとして、①学術書の出版—とくにCOEなど国の助成研究の成果公表や基礎研究の発信、②科学や学問の最先端で何が起きているかを市民にわかりやすく伝えること—「大阪大学新世紀セミナー」（全三〇巻）に続き、「大阪大学ライブラリー」シリーズの創刊、③教科書のスタンダードをつくること—「大阪大学新世紀レクチャー」シリーズの刊行、④新人の発掘を掲げ、質の高い、社会から評価される書籍の出版を目指しています。

▼泉万里『扇のなかの中世都市』

大阪大学総合学術博物館叢書の第一弾。「月次風俗図扇面流し屏風」に貼り付けられた二四の扇面図は狩野元信の工



大阪大学総合学術博物館叢書
〈1〉「扇のなかの中世都市」—
光光寺所蔵「月次風俗図扇面
流し屏風」

房が、十六世紀の京都とその郊外の名所や祇園祭や賀茂競馬などそこで暮らす人々の行事や祭

礼などの営みを生き生きと描いたもの。本書では、各面をA4判カラー図で掲載し、新たな知見も加え、詳細に解説する。A4判・九八頁（カラー二六頁）・定価二一〇〇円

▼荒井弘毅著『独占禁止法と経済学』

市場化と民営化が進む中で注目される独占禁止法の目的、構成、基礎概念、市場支配とは何かを豊富な事例を交え示すとともに、経済学の産業組織論を援用し、法と経済にまたがって考察する。A5判・二五二頁・定価二一〇〇円

▼野澤和男著「船—この巨大で力強い輸送システム」

パピルスの船から現代の十五万トン級豪華客船に至る船の歴史と役割を、豊富な写真や図版とともに紹介する。また、船のメカニズムや性能、理論についても詳説。船のすべてがわかる一冊。B5判・二五〇頁 定価二五二〇円

知と学の創造工房

関西大学出版部

●出版活動および目指すもの

関西大学出版部は、本学における研究成果の発表を助成・促進し、学術の振興に寄与することを目的に昭和二十二年六月に設置されました。以来、学校法人の事務組織の一部局として位置づけられ、その機能を果たしてきました。学術圖書の積極的な刊行に取り組むとともに、教科書の刊行や本学教育職員の還暦、古希等の記念論文集の印刷経費の補助も行っています。

本年、関西大学は創立百二十周年を迎えます。「学の実化」の学是に基づき、本学の知的生産物である研究成果を社会に公表し、さらに新しい出版制度の確立をはかり、大学の教育研究事業に参画することを目指し、あわせてわが国の文化の向上に寄与したいと考えています。

●最近の刊行物より

『郵送調査法〔増補版〕』

林 英夫著・A5判・定価四四一〇円



『郵送調査法〔増補版〕』
定価4410円

アカデミックとビジネスの両分野における郵送調査法に関する基礎的および実践的な研究過程で蓄積された内外の文献やデータを集約した、わが国で最初の本格的な専門書の増補版である。

データ収集技法として郵送調査法を活用している学術研究者にも、市場調査や世論調査の実務家にも、その存在意義を再認識し、改善する手助けとなろう。

増補版では、個人情報保護法の全面施行により困難化した郵送調査の実施環境を踏まえ、研究者や実務家が直面する諸問題を考察するとともに、多分野での郵送調査法の利用可能性が示唆されている。

知の創造空間から発信する

関西学院大学出版会

●目的

大学が社会との密接な関係を保ち、新たな知の創造のための開かれた場として機能していくために、さまざまな大学人の成果を広く社会に発信し、文化的貢献を行うことを目指しています。

●新刊

▼飯田収治編著・関西学院大学西洋史学研究室編

『西洋世界の歴史像を求めて』各主題別に歴史像を探る一七本の論文を収録。(A5・三七六頁・定価四〇九五円)

▼坂田博美著

『商人家族のエスノグラフィ―零細小売商における顧客関係と家族従業』商人家族や家族従業の実態を明らかにする。(A5並製・二五二頁・定価二八三五円)



(A5並製・九〇頁・定価八四〇円)

▼日本キェルケゴール研究センター刊行・松木真一編著

『キェルケゴールとキリスト教神学の展望―人間が壊れる時代の中で』キェルケゴール研究を軸に神学的展望を探る。(A5上製・三四六頁・定価五四六〇円)

▼関西学院大学法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム第一回国際シンポジウム成果報告編集委員会編

『正義は教えられるか―法律家の社会的責任とロースクール教育』(A5並製・二九二頁・定価二六二五円)

▼市川文彦・鳩澤 歩・藪下信幸他著

K・Gりぶれっと『史的に探るといふこと―多様な時間軸から捉える国際市場システム』(A5並製・八二頁・定価七三三五円)

▼長岡 徹・永田秀樹・松井 幸夫著

K・Gりぶれっと『それぞれの9条』それぞれの立場から憲法9条の必要性を語る。

世界に開かれた

地域の学術出版拠点を目指して

九州大学出版会

● 本会の概要

本会は九州大学を中心とした西日本一帯の国公立大学の共同学術書出版会という趣旨のもと一九七五年に発足しました。現在二七校が加盟しており、総刊行点数は約九二〇点で、近年は年間四〇点前後を精力的に刊行しています。地方の大学を取り巻く情勢が大きく変わりつつある現在、地域に根ざした出版会として各大学の特色ある企画を広く社会に発信していくことを目指しています。

● 新刊案内

▼佐藤優著『患者に優しい病院をめざして』（A4変・一九九五円）病院デザインの先進的な事例をオールカラーで紹介。医療関係者と建築計画者の必読書。



▼朱雀成子著『愛と性の政治学—シェイクスピアをジェンダーで読む—』（四六判・二七三〇円）シェイクスピア作品に登場する女のレットル（娼婦・魔女・天使等）を解説し、家族・男女間に潜む権力関係に迫る。

▼小野友道・上野眞也編著『地域公共圏の構想Ⅱ 大学と地域形成』（A5判・三三六〇円）地域課題の解決に寄与する政策提言という大学の新たな挑戦を紹介する。

▼徳永和喜著『薩摩藩対外交渉史の研究』（A5判・八四〇〇円）海難漂着民の送還体制や昆布流通ルートの解明などを通し、鎖国体制下の薩摩藩における対外政策の実態を解明する。第三二回南日本出版文化賞受賞。

▼バロー&サライマーティン／大住圭介訳『内生的経済成長論 第2版』Ⅰ・Ⅱ（A5判・各五八八〇円）経済成長論に関する世界的ベストセラーの第2版。待望の邦訳。

有限責任中間法人 大学出版部協会賛助会員

【50音順】2006年7月30日現在

株式会社朝日新聞社	〒104-8011	東京都中央区築地5-3-2
亜細亜印刷株式会社	〒380-0804	長野県長野市大字三輪新屋1154
有限会社アベル社	〒162-0825	東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館408
尼崎印刷株式会社	〒661-0975	兵庫県尼崎市下坂部3-9-20
株式会社大森印刷	〒105-0003	東京都港区西新橋3-17-1
岡本出版発送株式会社	〒353-0001	埼玉県志木市上宗岡3-16-2
株式会社クイックス東京	〒170-0013	東京都豊島区東池袋4-27-14 山京システムビル4F
港北出版印刷株式会社	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷2-7-7
三美印刷株式会社	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里5-9-8
三立工芸株式会社	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町3-4
三和印刷株式会社	〒381-2226	長野県長野市川中島町今井字薬師寺1822-1
信濃印刷株式会社	〒102-0072	東京都千代田区飯田橋4-1-11
城島印刷有限会社	〒810-0012	福岡県福岡市中央区白金2-9-6
新日本印刷株式会社	〒162-0845	東京都新宿区市谷本村町3-29
株式会社鈴木製本所	〒112-0014	東京都文京区関口1-17-5
大同印刷株式会社	〒849-0902	佐賀県佐賀市久保泉町上泉848-20
ダイニック株式会社	〒105-0012	東京都港区芝大門1-3-4 ダイニックビル7F
土山印刷株式会社	〒601-8305	京都府京都市南区吉祥院宮ノ東町7
宗教法人天然寺	〒204-0021	東京都清瀬市元町1-4-5-711
東一紙業株式会社	〒101-0047	東京都千代田区内神田1-12-7
株式会社東京弘報社	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町1-34
株式会社とうこう・あい	〒104-0061	東京都中央区銀座8-11-11
株式会社日本経済新聞社	〒100-8066	東京都千代田区大手町1-9-5
株式会社博報堂	〒108-0023	東京都港区芝浦3-4-1 グランパークビル17F
株式会社平文社	〒170-0005	東京都豊島区大塚2-35-7
株式会社堀内印刷所	〒112-0013	東京都文京区音羽1-21-11
株式会社毎日新聞社	〒100-8051	東京都千代田区一ツ橋1-1-1
株式会社遊文舎	〒532-0012	大阪市淀川区木川東4-17-31
株式会社読売新聞東京本社	〒100-8055	東京都千代田区大手町1-7-1

有限責任中間法人大学出版部協会は、私たちの活動をご理解・ご支援下さる皆様による「賛助会員」制度を発足いたしました。ここに趣旨にご賛同・お申し込みを頂きました各社様をご紹介させていただきます。なお「賛助会員」に関するお問い合わせは協会事務局までお寄せ下さい。

大阪経済法科大学図書館所蔵「社会主義及び無政府主義の歴史に関する図書類と小冊子のコレクション」——関西の文庫5

ベルリンの壁崩壊以降、社会主義の凋落ぶりは著しいものがある。しかし、グローバル化の進展とともにアメリカ一極集中による資本主義の弊害が顕著となり、最近ではマルクス主義の再評価ともいえるような状況が生まれている。

このような時期に、大阪経済法科大学図書館所蔵の上記コレクション全二、七八九冊のデータ入力为国立情報学研究所の平成一七年度週及入力対象事業として行われ、ようやくその全体像が検索できるようになった。

ドイツの一蒐集家が多年にわたって、収集・保管してきた本格的コレクションであり、社会主義・無政府主義をテーマにしたこれだけのコレクションを有する図書館は日本国内でも数少ない。この文庫の特徴を概観してみる。

資料・文献のカバーする時期は一八五〇年前後から約一〇〇年間である。古典的な名著はできるだけの初版原本を揃え、また、愛書家の間で垂涎的となっていた稀書を買集めあさった形跡がある。二三の例を挙げると、マルクスとエンゲルスの著作四六冊の中では、「資本論」(フランス語版)、「資本論第二巻」(エンゲルスの自筆献呈文入)、独仏年誌、「哲学の貧困」(フランス語)、「反デューリング論」などを始め、その半数は初版原本である。

蒐集者による分類法に従った各篇の特徴を一瞥してみる。
第一篇から第二六篇までは二六人のアルファベット順に並べられた有名著者の作品集であり、P・J・ブルードン、M・スチルナー、F・ラッサール等の著作がある。特に目立つのは、ラッサールの主要作品、カウツキーの全労作などである。

第二七篇以降は、国会議事録、報告書、政党や労働組織、地方組織から国際組織までを含んだ決議、討論、年鑑等の公式文書等、多方面に亘る社会主義関係著作と資料が収録されている。広く専門研究者の手によって調査、研究されることが望まれる。

大阪経済法科大学図書館では、これらの資料を順次PDF化して、ホームページ上で公開していくことを検討している。

(大阪経済法科大学出版部)

関西支部だより

編集後記

二〇〇六年度定時社員総会において、世界最古の大学出版部であるケンブリッジ大学出版局と日本の大学出版部として最も新しい武蔵野大学出版部が協会に加盟し、協会の仲間は三〇大学出版部となった。これを機に「大学出版」六八号は「三〇大学出版部の現在」を紹介する特集号とした。特集号は同時に、八月開催の「第一〇回日本・韓国・中国大学出版部協会合同セミナー」、ジュンク堂書店京都BAL店で開催される「三カ国図書展示」において、韓国・中国のセミナー参加者や書籍購入者に大学出版部協会加盟出版部を紹介するための宣伝ツールの役割を併せ持つように編集部会で企画されたものである。

* * *
本号のレイアウトに関して、加藤光太郎氏に助言をいただいた。

* * *
なお「大学出版」六七号22頁「大学出版部ニュース」記載の「新聞之新聞(一〇月三日)」は「新聞之新聞(八月一日)」の誤りです。お詫びの上、訂正いたします。

有限責任中間法人大学出版部協会 加盟出版部一覽

北海道大学出版会

060-0809 札幌市北区北9条西8丁目 北海道大学構内
TEL 011-747-2308 FAX 011-736-8605

東北大学出版会

980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学構内
TEL 022-214-2777 FAX 022-214-2778

流通経済大学出版会

301-8555 龍ヶ崎市平畑 120
TEL 0297-64-0001 FAX 0297-64-0011

聖学院大学出版会

362-8585 上尾市戸崎 1-1
TEL 048-725-9801 FAX 048-725-0324

聖徳大学出版会

271-8555 松戸市岩瀬 550
TEL 047-365-1111 FAX 047-363-1401

麗澤大学出版会

277-8686 柏市光ヶ丘 2-1-1
TEL 04-7173-3331 FAX 04-7173-3154

慶應義塾大学出版会

108-8346 港区三田 2-19-30
TEL 03-3451-6926 FAX 03-3451-3124

ケンブリッジ大学出版局

101-0054 千代田区神田錦町 1-10-1 サクラビル1階
TEL Academic 03-3291-4068 / ELT 03-3295-5875 FAX 03-3219-7182

産業能率大学出版部

103-0028 中央区八重洲 1-3-19 辰沼建物ビル7階
TEL 03-5205-2255 FAX 03-5205-2470

専修大学出版局

101-0051 千代田区神田神保町 3-8-3 専修大学4号館
TEL 03-3263-4230 FAX 03-3263-4288

大正大学出版会

170-8470 豊島区西巢鴨 3-20-1
TEL 03-5394-3026 FAX 03-5394-3038

玉川大学出版部

194-8610 町田市玉川学園 6-1-1
TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940

中央大学出版部

192-0393 八王子市東中野 742-1
TEL 0426-74-2351 FAX 0426-74-2354

東京大学出版会

113-8654 文京区本郷 7-3-1 東京大学構内
TEL 03-3811-8814 FAX 03-3812-6958

東京電機大学出版局

101-8457 千代田区神田錦町 2-2
TEL 03-5280-3433 FAX 03-5280-3563

東京農業大学出版会

156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1
TEL 03-5477-2562 FAX 03-5477-2643

法政大学出版局

102-0073 千代田区九段北 3-2-7
TEL 03-5214-5540 FAX 03-5214-5542

武蔵野大学出版会

202-8585 西東京市新町 1-1-20 武蔵野大学構内
TEL 042-468-3003 FAX 042-468-3004

武蔵野美術大学出版局

180-8566 武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7
TEL 0422-23-0810 FAX 0422-22-8309

明星大学出版部

191-8506 日野市程久保 2-1-1
TEL 042-591-9979 FAX 042-593-0192

早稲田大学出版部

169-0071 新宿区戸塚町 1-104-25
TEL 03-3203-1551 FAX 03-3207-0406

東海大学出版会

257-0003 秦野市南矢名 3-10-35 東海大学同窓会館内
TEL 0463-79-3921 FAX 0463-69-5087

名古屋大学出版会

464-0814 名古屋市千種区不老町 1 名古屋大学構内
TEL 052-781-5027 FAX 052-781-0697

三重大学出版会

514-8507 津市上浜町 1515 三重大学出版ホール内
TEL 059-232-1356 FAX 059-232-1356

京都大学学術出版会

606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9 京大会館内
TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190

大阪経済法科大学出版部

581-8511 八尾市楽音寺 6-10
TEL 0729-41-8211 FAX 0729-41-9979

大阪大学出版会

565-0871 吹田市山田丘 1-1 大阪大学事務局内
TEL 06-6877-1614 FAX 06-6877-1614

関西大学出版部

564-8680 吹田市山手町 3-3-35
TEL 06-6368-1121 FAX 06-6389-5162

関西学院大学出版会

662-0891 西宮市上ヶ原1番町 1-155
TEL 0798-53-5233 (内線3475) FAX 0798-53-9592

九州大学出版会

812-0053 福岡市東区箱崎 7-1-146 九州大学構内
TEL 092-641-0515 FAX 092-641-0172